

伸びる学校の見分け方

学校選びに欠かせないのが大
学合格実績だ。子どもが卒業す
るのは、3年あるいは6年後。
その時に伸びている学校を選び
たい。では、どの学校が伸びる
のか、見分け方はあるのか。

全国358進学校 「有名大学」合格実績



大学合格実績の伸び方は
学校によって千差万別だ。
しかし、共通点がある。公
立校の場合は、入試制度変
更で実績が伸びるケースが
多い。例えば、東京の日比
谷は10年前に比べて、東大
が5↓29人、京大が1↓6
人、一橋大3↓10人、早稲
田大96↓163人、慶應義
塾大42↓153人と大きく
伸びた。躍進の理由は、01
年に日比谷が東京都の大学
進学に力を入れる「進学指
導重点校」に選ばれたこと
にある。学習指導力のある
教員を重点校に配置し、予
備校などで授業研修を行
い、予算を配分して補習な
どができるようにした。さ
らに03年から学区が撤廃
され、受験生は好きな学校
を選べるようになった。こ
のような改革により、日比
谷の実績は伸びたのだ。

日比谷のように、制度改
革が実績アップに直結する
のが公立校の特徴だ。東京
に限らず、多くの地方で見
られる。学区を撤廃した埼
玉で浦和・県立の東大合格
者は、10年前の29人から今
年は46人に伸びている。
総選抜制の廃止、学区
撤廃や見直しなど、制度変
更をすると地元の伝統校に
優秀な学生が集まり、実績
が伸びるのも全国的な傾向
だ。塾の講師が言う。
「学区が撤廃されると、地
元の伝統校に志望者が集中
する傾向があります。生徒
には、伝統と実績のあるト
ップ校に行きたい気持ち
が強い」と、保護者もそれ
を望んでいるからでしょう」
それだけではない。公立
の新しい学校も伸びてい
る。東京には公立中高一貫
校が新設され、実績を大き

く伸ばしている。例えば桜
修館の前身は東京都立大付
だったのが、中等教育学校に
変わり校名も変更した。卒
業生が出てまだ2年目だが、
今年は東大6人、京大2人、
東京工業大4人、早稲田大
44人、慶應義塾大18人合格
だ。10年前はこれらの難関
大では早稲田に10人、慶應
に1人合格者がいただけだ
った。改革によって別の学
校に生まれ変わった。
横浜サイエンスフロンテ
ィアは理数教育に力を入
れている学校だ。同校のスー
パーアドバイザーには文
相、東大総長を務めた有馬
朗人氏ら、著名な科学者が
名を連ねる。
同校は12年に初めて卒業
生を送り出し東大3人、東
京工業大5人、早稲田大11
人、慶應義塾大10人など高
い実績を残した。今後は中

高一貫校化の計画が進んで
いる。安田教育研究所代表
の安田理さんが言う。

「公立一貫校の横浜市立南
高付中が12年に開校して志
願者が1600人を超えてま
したが、その比ではないほ
ど人気を集めています。す
でに高い合格実績を残して
いますから期待も大きく、
影響を受ける私立難関校も
出てきそうです」

来年も公立一貫校では千
葉・県立、立川国際、武威
の一貫生が初めて卒業し、
その実績に注目が集まる。
15年には神奈川の相模原中
教と平塚中教、16年には大
泉、富士、三鷹中教、南多
摩中教が卒業生を送り出す。
そういった新しい学校で
は、教育の中身の工夫も行
われている。グローバル人
材育成を目指しているのが
東京の富士だ。

語学の専門学校、大学を
擁する神田外語グループな
ども連携しながら、ネイ
ティブと楽しく話す教材の
活用、国内外での宿泊語学

研修など、実践的な英語が
学べるような独自の取り組
みをしている。その成果は
顕著で、語学学習において
生徒の満足度は高い。

近畿圏でも公立校の改革
が進む。京都の公立高は来
春から総合選抜制から単独
選抜制に変わるが、長らく
実績が伸びなかった。これ
に風穴を開けたのが京都市
立堀川だ。同校はまず普通

教師力が実績アップにつながる

大阪も進学に特化した文
理学科が10府立高に設置さ
れ、人気を集めている。来
年からは学区が撤廃され
る。地元の塾では「伝統校
の北野、天王寺、大手前に
人気が集まるのでは」と
見られている。

一貫校はもともと私立の
専売特許だった。公立の一
貫校が次々と設置され、私
立のお株を奪う事態となっ
ている。それは、公立校の
「私立校化」とも言える。
私立校では地方自治体に

科と同じように、専門学科
の探究科を新設した。専門
学科は全府から生徒募集が
可能で優秀な生徒が集ま
り、学習指導力のある教員
が同校に異動し大きく実績
が伸びた。今年度は京大49人、
東大4人合格だ。改革前は
ともにゼロだったことから
「堀川の奇跡」と言わ
れるほど、実績を伸ばして
いる。

よる制度変更で、実績が大
きく伸びることはない。各
校は独自の改革で実績を伸
ばしてきている。神奈川の
逗子開成は今年過去最高の
東大14人合格、大阪桐蔭も
過去最高の京大64人合格に
まで伸びている。

このように大きく伸びる
私立一貫校がある一方で、
それほど伸びていない学校
もある。子どもが中学受験
を控える保護者が言う。
「多くの進学校を学校訪問
し話を聞きましたが、教育

という面ではトップ校も、
それより下の学校でも大差
ないと思います。しかし、
実績となると大きな差にな
ってしまうのは、どうして
でしょうか」

どの私立一貫校も生徒の
進路の希望をかなえるため
に、他校のいい教育を取り
入れている。例えば補習、
長期休暇中の講習、勉強合
宿、習熟度別授業など、今
では多くの学校で実施され
ている。前出の安田さんに
聞いた。

「偏差値はあくまでも合格
するための目安です。だか
ら、トップ校ではそれより
高い偏差値の優秀な生徒
が、たくさん入学していま
す。それが実績の差になっ
ているのでしょ」

また、教育システムを
変えれば、どの私立一貫校も
実績が上がりそうなものだ
が、そうはならない。安田
さんは、こんな指摘をする。
「確かに優秀な先生が他校
の成功例を参考にしながら、
自校用にアレンジして

進学校としてやっていける
体制を作ることには可能で
す。しかし、それを実行す
る力のある教員がいるかど
うかがカギです。国立大に
なれば最低でも5教科7科
目もあり、その科目すべて
にやる気のある先生がいる
ことが求められますから、
伸びるかどうかが教師力に
かかっていると思います」

公立校なら人事異動で優
秀な教員を1校に集めるこ
とはできるが、私立校では
それは不可能だ。ある学校
が「進学校に変わります」
と言っても、「教員が元の
ままだから厳しい」と見る
地元塾関係者は少なくない。
言葉だけではなく、教
員の本気度を見ることが大
切になってくる。

受験校を決める時期にな
った。これから伸びる学校
を探すのは、まずは学校説
明会に参加して教育内容だ
けでなく、教員のやる気を
チェックすることが大切と
言えそう。